



きなぎっせ

九州中央病院広報誌「第 89 号」 2021 年 4 月

□地域医療支援病院 □地域がん診療連携拠点病院 □臨床研修指定病院 □日本医療機能評価機構認定病院
〒815-8588 福岡市南区塩原三丁目 23 番 1 号 TEL 092-541-4936(代) FAX 092-541-4540



「河内藤園」(撮影地：八幡東区河内) 撮影：研修医 福田 裕紀

基本理念 病んでいる人の人権を尊重し、健やかで心豊かな社会をつくるための医療を提供します。

基本方針	Progressiveness	常に向上心を持ち何事にも積極的に、前向きに対処する
	Hospitality	医療される方々の立場に立った、満足の得られる医療を行う
	Superiority	質の高い、高度な医療を目指す
	Rationality	合理的で、無駄のない医療、および医療経営を行う

目次

Medical Information	2	バイブレーション全身用血管撮影 装置導入のお知らせ	10
心理士が伝授！ こころの健康を保つコツ	4	南警察署からのお知らせ	11
外来診療担当医表	6	地域連携 Web セミナーのお知らせ	12
やさしい健康講座について	8	編集後記	12

Medical Information.



鼻出血について ～患者さんに向けて～

耳鼻咽喉科部長 大橋 充

はじめに～昨年の当科活動～

当院の耳鼻咽喉科は、みみ、はな、のどの病気や、頭頸部と言われる部位の腫瘍など、専門領域に関係するほぼ全ての病気に対する検査や治療を行っています。

昨年の4月から新体制で当科は活動してまいりました。主要に行ってきた手術として内視鏡による鼻の手術があります。内視鏡下鼻副鼻腔手術と呼ばれるものです。慢性副鼻腔炎（一般的にみなさんが蓄膿症とよばれるもの）で頭痛や鼻漏・悪臭に苦しまれる方や、鼻の構造的問題から慢性的な鼻詰まりに苦しまれる方の治療を数多くさせていただきました。当院には最新の内視鏡手術設備に加え、画像（詳細なCT）を利用したナビゲーションシステムも導入し、より安全な手術をモットーに行っています。昨年一年間で合併症や事故は一件もなく、手術を受けたみなさんお元気にされています。鼻の手術以外にも、頭頸部の腫瘍（甲状腺や顎下腺・耳下腺のできたもの）切除や、有名な扁桃腺の切除、中耳炎に対する手術、聴力の改善手術、喉の声帯にできたポリープの切除など広く手術に対応して参りました。

しかし我々耳鼻咽喉科が対応するのは手術だけではありません。扁桃腺が腫れて水も飲めなくなってしまった方（急性扁桃炎・扁桃周囲膿瘍）や、突然聞こえの悪くなる突発性難聴や、顔の筋肉が動かなくなる顔面神経麻痺といった病気に対する治療も積極的に行ってきました。そして、当院が力を入れて活動している救急医療の現場で、最も多くお会いしたのは突然の鼻出血でお越しになる方々でした。

そこで、前置きが長くなりましたが、この紙面をいただき鼻出血についてご説明させていただこうと思います。

鼻の構造

鼻の構造は図1を見てください。左右の鼻の穴

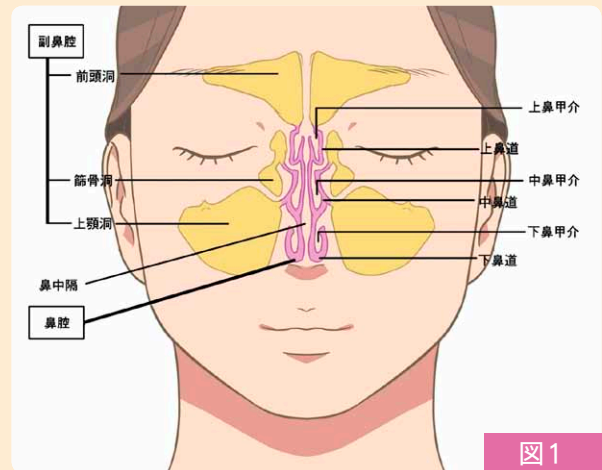


図1

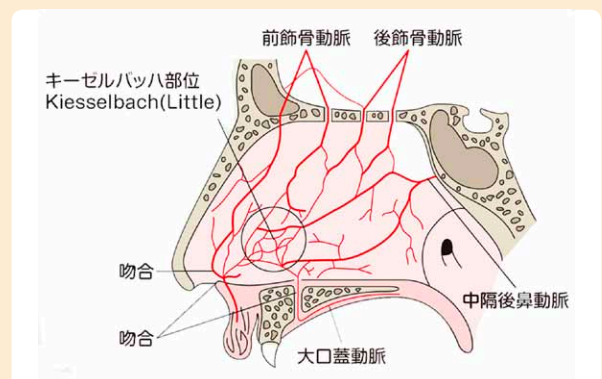


図2

（鼻腔）の間に鼻中隔があります。鼻腔内には上中下と3つの甲介とよばれるひだのような構造があります。

この鼻腔から狭い通気路で副鼻腔（上顎洞・篩骨洞・前頭洞・図に記載はありませんが蝶形骨洞）とつながっています。この鼻の中を栄養する血管に主なものとして、前・後篩骨動脈、上唇動脈、大口蓋動脈、蝶口蓋動脈(中隔後鼻動脈)があります(図2)。つまりこれらの血管分布のいずれかの場所から出血するのが鼻出血という事になります。

出血の原因と部位

出血の原因については、以下のように考えられています。

- ・外傷：顔面殴打や交通事故での受傷
- ・炎症：感染症、アレルギー性鼻炎、異物残留
- ・薬物：抗凝固剤服用（血液サラサラのお薬）
- ・内科的要因：高血圧、血液疾患（白血病など）、肝臓疾患（血液が固まりにくくなる場合があります）

・腫瘍：血管腫や悪性腫瘍（がん） など

これらを聞くととても怖くなりますね。確かに、鼻出血で外来にお越しになられた方に重篤な病気が見つかることがあるので、“たかが鼻血”と考えずに一度は耳鼻咽喉科を受診していただくことをお勧めします。しかし、多くの場合は、寒い時期の鼻粘膜炎症に相まって、高血圧である方や、抗血小板薬を飲まれている方の出血が多いように思われます。必ずしも重篤な病気という訳ではないので、慌てずに行動していただいて良いと思います。

出血の部位

先に述べたように、基本的には血管分布のどこからでも出血は起こります。でも、よく出血する箇所というのがあります。医療現場でよく知られている箇所に、図に示してあるキーゼルバッハと呼ばれる部位、つまり鼻の穴の入口付近の毛細血管分布の箇所があります。

確かに外来受診される患者さんでは、この箇所が出血源であることは多く見受けられます。この場合、鼻をつまんで数分置くだけで止血する場合がありますし、外来での一回の治療で終了してしまうこともあります。しかし、当院のような救急車でお越しになる患者さんが多い現場では、もう少し奥の部位で、前後篩骨動脈や蝶口蓋動脈の血管の枝から出血していることが多いように思われます。さらに高血圧や糖尿病を患っておられたり、抗血小板薬服用中という場合が殆どで、入院治療を要したことも多くありました。

治療法

出血している部位を確定することが治療の第一歩ですが、これがそう簡単ではありません。先に述べたキーゼルバッハという箇所であれば、鼻の穴を広げて診察すれば、大抵の場合確認できます。しかし奥の箇所となりますと、視診するだけでは発見は難しくなります。ファイバースコープなどを利用して広範囲観察します。

出血箇所が明らかになった場合、最も効果的なのは電気凝固(電気メスによる焼灼) です。“やけど”にして止血する手段です。

しかし、ファイバースコープを用いても出血点を

明らかにできない場合もあります。この場合、ガーゼによる圧迫止血という手段を用います。鼻の中にガーゼをしっかりと詰めて圧迫して血を止める手段で、患者さんにとっては鼻を詰められてしまう辛さが伴います。多くの場合入院して管理させて頂く必要が出てきます。

鼻の構造の問題

鼻出血の患者さんで、結構多く遭遇しますが構造の問題です。先に述べました鼻中隔という構造は、完全な真っ直ぐの方はほとんどおられず、みなさん軽度彎曲しています。しかしこの彎曲が大変強度であると、ファイバーを用いても鼻腔内の観察が大変困難になり、電気凝固はもちろんの事、ガーゼによる効果的な圧迫も困難となります。あまりネット上でも指摘されていないようですが、こういった方が当院には結構多く来られました。鼻中隔彎曲症という診断になります。なかなか止血が困難で、手術を行って鼻中隔を矯正した上で止血を行いました。

患者さんをお願いします事

鼻出血をきたした場合、まずは顔をやや下向きにして鼻を両方からつまんで止血を試みてください(図3)。出血している方の鼻にティッシュなどを詰めて圧迫しても良いです。先に述べたキーゼルバッ



図 3

ハからの出血であれば、これで数分置くことで止血できる場合があります。出血に対するご不安もあるでしょう。平日であれば近くの耳鼻咽喉科で良いと思いますので受診をしてください。休日や夜間でありましたら当院のように救急外来のある病院を受診してください。慌てて移動され転倒など二次災害を来さないように、家人や近所の方の協力を頂き行動してください。上記圧迫しても止血が得られず移動手段がない場合は、救急車のご利用をお考え下さい。

昨年一年間の診療を踏まえ、鼻出血についてご説明いたしました。みなさんの何らかのご参考になれば幸いです。

心理士が
伝授！

こころの健康を保つコツ

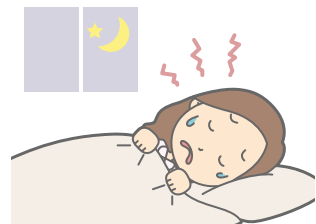


新型コロナウイルスの出現から１年が経ちました。この１年、これまで経験したことのない大変な日々をみなさんお過ごしのことと思います。そこで今回は、こころの健康＝メンタルヘルスを維持するコツをご紹介します。

最初に少しでも心理士について紹介をさせていただきます。臨床心理士（公認心理師）の活動場所は、学校や病院など多岐に渡ります。悩み事やストレスを抱えた方のお話を聞かせていただきながら、自分らしく生きることができるようお手伝いをしたり、解決への糸口を共に考えていきます。当院のメンタルヘルスセンター・心療内科は、教職員の方のメンタルヘルス向上の役割を担って参りました。具体的には、メンタルヘルス不調となった教職員の方に対するカウンセリングや、復職までのサポートを行っています。その他、緩和ケアチームの一員として、主にがんの患者さんやそのご家族に対する支援等も行っています。

睡眠リズムを一定に

１回目の緊急事態宣言の発令では、学校が休校となり、会社ではテレワークが普及するなど、日々の生活が大きく変化しました。１日のほとんどを家の中で過ごしたという方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。登校や出勤がなくなると、生活リズムが変化して、ついつい寝る時間が遅くなってしまったり、日中の活動量の



減少によってなかなか寝付けられないなど睡眠の質が悪化してしまうことがあります。睡眠は、身体の疲れを取るだけでなく、脳の疲労を回復する重要な役割があります。脳を休めることで集中力や意欲を回復することができます。出来るだけ、朝起きる時間と夜寝る時間を一定にして、睡眠リズムを維持するように努めましょう。朝起きたらカーテンを開け、太陽の光をしっかりと

と浴びましょう。私たちの体内時計は、光を浴びることで、眠気を誘うホルモンの働きが弱まり、15、6時間経過すると自然と眠気来るように出来ています。体内時計は約25時間ですが、朝食をとることで24時間にリセットされます。出来ればバナナ１本、ヨーグルト１個でもいいので朝食をとりましょう。これで朝のスタートと睡眠の準備は万全です。



ストレス対処法を見つけましょう

自宅で過ごす時間が増え、料理やお菓子作りにはまったり、新たな趣味を見つけた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。このように、自分が楽しいと感じたり、心地よいと感じることを行うことは、ストレス対処につながります。ストレス対処法は多ければ多いほど良い、とされています。外食や旅行などは難しくても、代わりに行きたい場所の名物を取り寄せてみたり、レストランの味に自宅で挑戦してみるのも良いかもしれません。職場では、簡単なストレッチをするだけでも、身体と心の緊張をとることができます。

テレワークになり、通勤時間を睡眠に充てたり、家族で過ごす時間が増えるなど、プラスの面や「出来ないこと」よりも「出来ること」に目を向けることもストレスを和らげます。

但し、「毎日ちゃんと料理を作らなくちゃ」、「体力が落ちないように、運動しなくては」と「こうすべき」というルールに縛られると行き詰ってしまふことがあります。頭で考えたルールではなく、ご自分の心と身体に耳を傾け、「楽しい」、「心地よい」という感覚を大切になさってください。

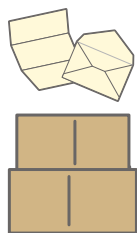


人とのつながりを保ちましょう

「帰省したいけど実家の家族にうつしたらどうしよう」と、ご友人や遠方のご家族に会うことを控えているという方も多くいらっしゃると思います。東日本大震災で活動した消防士の方への調査から、「家族からの電話やメール」や「同僚や先輩たちと他愛もない話をした」など、人とのつながりを持つことが、災害など大変な状況や救援のプロにとっても支えになることが明らかになっています。

また、人とのつながりは、ストレスを跳ね返す力＝レジリエンスを高めるとされています。ご自身の気持ちを言葉に出し、受け止めてもらうことは安心感につながります。人とのつながりを持つことは、孤独感を和らげます。会話を控えがちになってしまう昨今ですが、感染予防をしながらの「孤立予防」は可能です。学校や職場で周囲の方とのちょっとした雑談や、大切な方とのつながりを保ちましょう。

大切な人の無事を願いながら過ごす日々はいつの時代も変わりません。ぜひ、ご自身の思いを相手の方に伝えてください。スマートフォンやパソコンを使って、オンラインでの再会もできますし、故郷の品物に一筆添えるのはいかがでしょうか。どんな時でも大切な人を思う時間は、心の平穏をもたらしてくれるのではないのでしょうか。



メンタルヘルスセンター 臨床心理士 志岐 景子

九州中央病院専門外来診療担当医表

令和3年4月1日現在
◎新患もしくは再来 ○再来

科	専門分野	氏 名	月	火	水	木	金	科責任者
内科	総合内科	古 賀 恒 久		◎	○			●
	糖尿病・ 内分泌内科	五 島 大 祐	○			◎	◎	●
		中 尾 晶 子		○	◎		◎	
		井手脇 康裕				○		
		原 規 子	◎	◎	○ (午前)			
	消化器内科	岡 本 康 治	◎			○		●
		坂 本 圭		◎	○			
		濱 田 広之			◎		○	
		森 麻里母		○		◎		
		加 来 寿 光	○				◎	
		小田代 敬太	◎	◎	◎			●
	循環器内科	河 野 修				◎		
		郷原 誠一郎	◎				○	
		仲 村 尚 崇					◎	
		古 川 陽 介			◎			
		近 藤 萌	○		○ (午後)			
		大 森 将	○ (午後)		○ (午後)			
	脳神経内科	竹 迫 仁 則		○			○	●
		陣 内 重 郎	◎					
		後 藤 聖 司	○		◎			
		金澤 有 華				○		
		安 部 大 介					◎	
	肝臓内科	東 晃 一		◎		○		●
	脾臓内科	伊 原 諒		◎			◎	●
		江 崎 薫				◎		
	呼吸器内科	古 藤 洋	○	○		◎		●
		中 島 信 隆			○		◎	
		中 富 啓 太	◎				○	
		山 下 翔		◎		○		
		櫻 井 優 子			◎			
	腎臓内科	水 政 透		◎				●
		三 品 仁 美					◎	
		山 崎 景 介			◎			
		石松 由季子		◎				
	PD 外来	水 政 透			完全予約	完全予約		
	心療内科	河 田 浩	完全予約	完全予約	完全予約	完全予約	完全予約	●
		早 木 千 絵	完全予約	完全予約	完全予約	完全予約	完全予約	
	禁煙外来	五 島 大 祐				完全予約		●
外科	消化器外科	池 田 陽 一	◎			○		●
		足 立 英 輔		◎			○	●
		中 村 俊 彦			11 時まで			
		伊 藤 修 平	○			◎		
		大 垣 吉 平	○		◎			
		川 副 徹 郎	◎		○			
		王 欽 林		○			◎	
	呼吸器外科	斉 藤 元 吉		◎			◎	●
	血管外科	隈 宗 晴		◎ (午前)			◎ (午前)	●
		岩 佐 憲 臣			◎ (午前)	◎		
乳腺外科	乳腺外科	寺 本 成 一	◎ (午前)	◎ (午前)	手術日	◎ (午前)	◎ (午前)	●
婦人科	婦人科	衛 藤 貴 子	手術日	◎		◎	◎	●
		ウロブレスキ 順子	手術日	◎	◎		◎	
		松 下 知 子	手術日		◎	◎		
整形外科	脊椎・一般	有 蘭 剛	◎		◎		◎	●
		井 口 明 彦			○	◎	◎	●
	膝・外傷・一般	濱 田 貴 広	◎	◎		○		●
	脊椎・関節外科・外傷・一般	今 村 隆 太	○ (午後)		◎		◎	
	関節外科・ 外傷・一般	泉 貞 有	◎ (午前)		◎ (午前)	◎	◎ (午前)	
		中 村 公 隆		◎		◎		
		副 島 悠		◎			◎	
		境 真 未 子	◎	◎				
		吉 本 将 和		◎ (午前)	○ (午後)	◎		
		田 中 一 成	◎	○ (午後)	◎ (午前)			
	リウマチ・一般	時 任 毅			○ (午後)		○ (午後)	

※精神科の外来は行っておりません。尚、入院中の患者さんには、精神科医師（非常勤）による併診を行う場合があります。

科	専門分野	氏 名	月	火	水	木	金	科責任者
形成外科	形成外科一般	井 上 真 衣	◎	◎	10時まで	◎	手術日	●
		森 崎 晶 子	予約	予約	予約	予約	手術日	
皮膚科	皮膚科一般	菊 池 智 子	◎	11時まで	◎	手術日	◎	●
		末永 亜紗子	◎	11時まで	◎	手術日	◎	
		本 田 遼 馬	◎	11時まで	◎	手術日	◎	
泌尿器科	泌尿器科一般	関 成 人	◎	○	◎	◎		●
		宋 裕 賢		◎	○		○	
		出 嶋 卓	○		○		◎	
		正 岡 寛 之		○		○		
		永 富 裕 子	○				○	
眼科	眼科一般	長谷川 裕平	手術日	◎	◎	11時まで	◎	●
		西 田 崇	手術日	◎	◎	11時まで	◎	
耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科一般	大 橋 充	◎	◎	手術日	◎	11時まで	●
		増 田 智 也	◎	◎	手術日	◎	11時まで	
脳神経外科	脳神経外科一般	井 上 琢 哉		◎	◎	◎	手術日	●
		外 間 政 朗	◎	◎	◎		PM 九大	
放射線科	放射線診断一般	柿 原 大 輔 / 花 田 清 彦	予約	予約	予約	予約	予約	●
放射線治療	放射線治療一般	植田 稔 / 九大	予約	予約	予約		予約	●
麻酔科	ペインクリニック	本 山 嘉 正	◎	予約			◎	
緩和ケア外来	緩和ケア全般	中 村 俊 彦	予約 (10時～14時)		予約 (13時～15時)	予約 (10時～14時)		●
摂食嚥下外来	摂食嚥下機能	金 城 亜 紀			予約	予約		●
N S T 外来	栄養管理	竹 迫 仁 則	◎	◎	◎	◎	◎	●
もの忘れ外来	認知症一般	竹 迫 仁 則					予約	
		陣 内 重 郎			予約(14時～) 第1・3週			
		後 藤 聖 司			予約(14時～) 第2・4週			
		金 澤 有 華			予約(14時～) 第5週			
歯科口腔外科	歯科口腔外科一般	堀之内 康文	予約	予約	手術日 【外来】 院内・九大	予約	予約	●
		佐々木 匡理	予約	予約		予約	予約	
		碓 竜 也	予約	予約		予約	予約	
		中 嶋 光	予約	予約		予約	予約	

	月	火	水	木	金
胃透視	坂本	加来	森	濱田	岡本
内視鏡	① 濱田	江崎 岡本	加来	坂本	森
	② 森	濱田	岡本	加来	江崎 坂本

救急搬送	月	火	水	木	金
前原 伸一郎	担当	担当			
河 野 修			担当		担当
柿 添 圭 成				担当	

一般患者さんの受付時間(新患・再来) 8:30～11:00
 紹介患者さんの受付時間(新患・再来) 8:30～12:00
 歯科口腔外科 8:30～11:00
 ※受付時間外の救急患者さんについては、お問い合わせをお願いします。

医療機関からのお問い合わせ先は、下記の通りです

平日(8:30～17:00)
 【地域医療連携室】
 TEL: 0120-541-995(直通) FAX: 0120-541-990(直通)

時間外(左記以外)
 【救急外来】
 TEL: 092-541-4936 FAX: 092-541-4540

* 時間外の受付(救急の患者さんに限る)

時間外・夜間・土曜・日曜・祝祭日ならびに年末年始(12/29～1/3)は、救急外来で対応いたします。

* 予約受付時間

【検査のみ】(CT・MRI・骨シンチ・胃カメラ・骨密度)
 平 日(8:30～17:00) 土曜日(9:00～14:00)
 TEL: 0120-541-996

【歯科口腔外科】
 平 日(8:30～13:00)(14:00～17:00)
 予約専用ダイヤル: 0120-541-998

【心療内科】(要予約)
 TEL: 092-541-4936
 ※新患: 月・水・金(午前中)

〒815-8588 福岡市南区塩原三丁目23番1号
 公立学校共済組合九州中央病院
 代表電話: (092) 541-4936
 ホームページ: <http://kyushu-ctr-hsp.com>

2021年度 九州中央病院の看護師と学ぶ やさしい健康講座について

地域住民のみなさんと共に健康について学びを深めてきました「やさしい健康講座」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、2020年度より開催中止とし現在も再開の目途が立っていない状況です。そこで、少しでもみなさんの健康維持・向上が図れるような情報提供ができないかと考え、『きなざっせ』で配信することにしました。

きなざっせ版

第37回 九州中央病院の看護師と学ぶ やさしい健康講座



人生会議（アドバンス・ケア・プランニング：ACP）について
～あなたが「大切にしていること」を大事な人（家族）へ伝えていきますか～

がん性疼痛看護認定看護師
安部 陽子

今回は、人生会議（アドバンス・ケア・プランニング：ACP）についてのお話です。

厚生労働省は、高齢多死社会の到来に伴い、人生会議の重要性を述べています。人生会議とは、もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて前もって考え、家族や医療・ケアチーム等と繰り返し話し合い、共有することです。

現在、世界中で新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっています。自分自身が病気にならないように気を付けていても、いつ、どのような状況になるのか分かりません。いつでも、誰にでも命に関わるような病気やケガをする可能性があり、そして、命の危険がいつ迫るかは、誰にも分からないのです。そこで、この機会にみなさんにも人生会議のことについて考えて頂けたらと思います。

みなさんは「もしものとき」「命の危険が迫ったとき」の事を考えたことはありますか。健康なときは「病気になってから考えれば良い」「今は、そのような事を考えられない」と思う方もいらっしゃるのではないのでしょうか。厚生労働省の「人生の最終段階に関する報告書」によると、命の危険が迫ったときの意識については7割近くの方が「自分の気持ちや意思を伝えることは難しい」と言われています。そのため、健康なときからあなたの事をよく理解してくれている大事な人（家族）に「あなた（自分）が大切にしていることは何か」「命の危険が迫ったときはどのような治療やケアを望むか」など、人生観や価値観について繰り返し話し合っておくことが重要です。この過程が「人生会議」なのです。そうすることで「もしものとき」に、あなたの大事な人（家族）があなたの思いに沿った治療やケアを医療者や他の家族に伝えることができます。そして、それはあなた自身のみでなく、もしものときに辛い立場にあるあなたの大事な人（家族）の精神的負担の軽減にもつながります。

健康なときは、自分が何を大切に生きているのか、生きてきたのかなどを考えることは少ないのではないかと思います。自宅やご家族で過ごす時間が増えている今だからこそ、「あなた（自分）が大切にしていること」を考え、そして「人生会議」をしてみたいはいかがでしょうか。

【人生会議：初めて知った父の思い】



バイプレーン全身用血管撮影 装置導入のお知らせ

2021年1月、最新全身用血管撮影装置（シーメンス社製）を導入しました。

これにより、血管造影室は2室の運用体制となりました。

2台運用のメリットとして、循環器内科、脳外科、放射線科、血管外科、腎臓内科等のこれまでの、通常検査に加え、緊急検査や長時間の血管内治療により柔軟に対応可能となります。

新規導入装置は

CT画像と同等程度の画像を、優れた画像処理を行い、しかも検査後、短時間で表示可能となりました。

この画像処理を用いる事で、専用カテーテルを目的血管への到達が、より容易に行えるようになり、高度な血管内治療にも対応できます。

検査に使用する造影剤の使用量も、これまでより少なくなりました。

この他にも以下のような優れた特徴があります。



●優れた高画質

微細血管や、血管内ステント等の画像をより鮮明に描出することが可能となりました。最新の血管内治療にも対応しています。

●より正確な診断

従来CT装置でしか得ることのできなかった腹部や頭部の3次元画像を高画質で撮影後再構成できます。

血管の複雑な走行も短時間で確実に把握できるようになる事で、より治療に役立つ正確な診断を行えます。

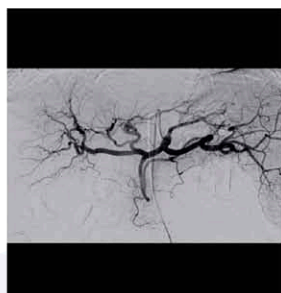
●低線量 放射線被ばく

最新の被ばく低減機構や画像処理による被ばく低減が可能となり、患者さんには、従来よりも少ないX線被ばく線量で検査が可能となっています。

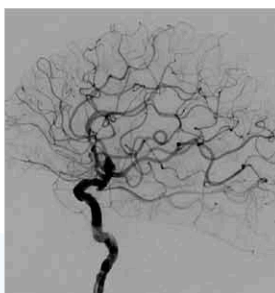
安心して検査や治療を受けていただけます。



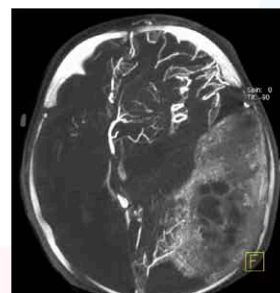
心臓血管画像



腹部血管画像



脳血管画像



脳 3D 断層画像

画像提供：シーメンスヘルスケア株式会社

南警察署からのお知らせ

福岡県南警察署 092-542-0110

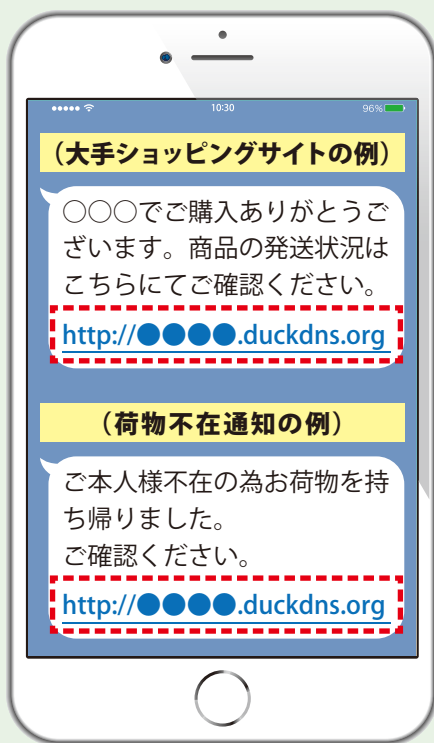


サイバー犯罪 (フィッシング) に注意!

電子メールやSMS (ショートメッセージ) において、大手ショッピングサイトや荷物の不在通知等を装った不審なメッセージによるサイバー犯罪が確認されています。



1 商品発送や荷物の不在通知等のメールやSMSを受信



2 メッセージに記載されているURLにアクセスすると...

本物そっくりな偽サイトが表示され、ID・パスワードなどの個人情報を求められる。入力することで情報を盗み取られる。



盗み取られた情報から不正アクセスされ、ネットバンキング、キャリア決済、ネットショッピングなどに利用される。

不正アクセス

ウイルス感染するアプリをダウンロードさせられる。



自分のスマホから感染を広めるSMS等を勝手に送信されてしまう。

ウイルス感染

～ 防犯のポイント ～

- ◆ 身に覚えのないメールやSMS、添付ファイルは開かない!
- ◆ メールやSMSの本文に記載されているURLをタップしない!
- ◆ 安易にメッセージの内容を信用しない!

地域連携Webセミナーのお知らせ

登録医療機関、連携する医療施設等を対象とした Web セミナーを開催しております。
ご視聴いただくには、セミナー登録が必要となりますので、地域医療連携室（代表：092-541-4936）までご連絡していただきますようお願いいたします。

2月から3月に配信した講演

地域連携Webセミナー

第5回

「当院の循環器内科診療について」

講師：循環器内科部長 小田代 敬太



第6回

「CT・MRIなどの共同利用について」

講師：放射線科部長 添田 博康



第7回

「脆弱性骨折の診療と課題」

講師：整形外科部長 有菌 剛



第8回

「脾臓内科とは
—脾癌及び最新内視鏡治療を中心に—」

講師：脾臓内科 伊原 諒



地域連携Web患者ケアセミナー

第1回 患者ケアセミナー

「ACP（人生会議）と緩和ケア」

講師：緩和ケア認定看護師 徳永 浩子



第2回 患者ケアセミナー

「注意しておきたい高齢者によく処方される薬
—急性期病院での事例を踏まえて—」

講師：薬剤師 江嶋 祐樹



セミナー登録頂いた方は過去の配信動画が視聴できます。

4月・5月に配信を予定している講演

4月13日（火）18:30～19:00

「CKDの地域連携」

講師：腎臓内科部長 水政 透

5月11日（火）18:30～19:00

「当院での変形関節症治療」

講師：関節外科部長 濱田 貴広

4月20日（火）18:30～19:00

「新型コロナウイルス感染症対策について」

講師：感染管理認定看護師 阿部 聡美

5月18日（火）18:30～19:00

「当院のがん化学療法における薬薬連携」

講師：薬剤師 佐々木 好美

4月27日（火）18:30～19:00

「当院の救急体制について」

講師：救急部長 前原 伸一郎

5月25日（火）18:30～19:00

「消化管癌と内視鏡治療」

講師：消化器内科部長 岡本 康治

※6月のWebセミナーの講演については順次案内をお送りする予定です。

※外来診療担当医表は冊子中央（P6～7）に掲載しています。

春の陽気とともに、新年度がスタートしました。何かと慌ただしい季節ですが、今年は花を見て癒される時間を作れたらいいなと考えています。今号表紙の藤の花、絶景ですね。河内藤園さんは北九州にあるそうですので、私も是非行ってみたいと思います。気持ちを新たに、今年度もみなさんのお役に立つ情報を発信して参ります。

広報委員会 小柳



九州中央病院広報誌「きなざっせ」第89号

編集：広報委員会 発行：九州中央病院

URL: <http://kyushu-ctr-hsp.com>